Ⅱ 「教育の日」の制定状況と制定推進

各都道府県退職校長会のご協力による回答を報告します

問１ 未制定府県（11府県、回答10府県）の状況について

①平成29年12月以降、新たに制定された府県はなし。

②制定の見込みが予想される府県は特になし。

③現在、制定の見込みのたたない府県の中には、『市町村の過半数が「教育の日」制定をしたら県の「教育の日」の制定を考えてもらえる』との回答がある。

問２ 新たに制定された市町村（１市、1町、6村）

- 新潟県見附市
- 千葉県長生村
- 沖縄県の嘉手納町、多良間村、国頭村、伊平屋村、中城村、東村

問３ ⑴「教育の日」の制定によって得られた成果（数字は制定都道府県の回答数）

- 子供、学校、地域、行政の連携が深まった。 [21]
- 「教育の日」の諸事業で教育への関心が高まった。 [20]
- 地域ぐるみで子供を育てる意識が広まった。 [19]
- 社会全体で子供を見守り育てる環境づくりが進んだ。 [12]
- 学校、家庭、地域で教育への共通認識が育った。 [11]
- 地域の文化、教育風土づくりへの支援ができた。 [９]
- 教育への重要性が再認識された。 [９]
- 県民の教育尊重の気運が高まった。 [６]
- 生涯学習の振興・充実に寄与している。 [６]
- 町ぐるみ、地域あげての学校支援が推進された。 [６]
- 教育への協賛事業が増えてきた。 [５]
- 県民総ぐるみでの教育推進に寄与した。 [５]
- いじめやスマホ問題への具体的な取り組みができた。 [１]

⑵ 上記以外の成果として以下の回答を得た。

- 学校公開や授業参観が「教育の日」行事として活発に行われ、地域や保護者に対しての「開かれた学校づくり」につながっている。「教育の日」行事とすることで成果が強い。
- 「教育の日」行事（学校公開）によって、放課後における部活動指導等の教育参画（サポート）の気運が盛り上がった。
- 「教育の日」関連の「学校へ行こう」週間によって、学校開放が進んだ。
- 市町村における「教育の日」関連イベントが開催され地域との連携が深まった。
- 県内の企業・店舗等の協力を得て、「教育の日」のポスター・リーフレットの配布により、地域の方々・保護者に「教育の日」の周知を図ることができ、一般県民の教育への関心を高めることができた。
- 県退職校長会が主導して行っている「教育の日」推進大会（地区持ち回り）の開催担当市の大会テーマの実践発表は成果を上げている。
- 県退職校長会が主導して行っている「教育の日」推進大会（地区持ち回り）における子供たちの発表を通してその成長ぶりと可能性を感じ、「教育の日」の成果と思う。
- 県退職校長会が主導して行っている「教育の日」推進大会（地区持ち回り）では、小・中・高における地域連携の実践事例発表会を中心としたことで、地域の小・中・高等学校の連携が深まった。

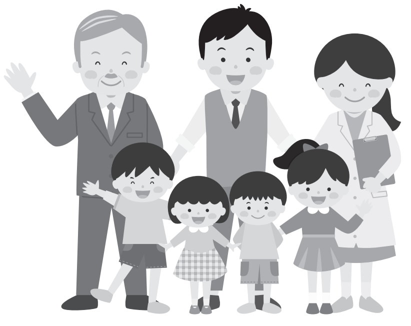
- 「教育の日」関連行事に関して現職校長会と退職校長会とが協議を行うことで両者の連携が深まった。
- 市町村の「教育の日」制定に働いたことで、地区退職校長会の活性化が深まった。
- 何事も成果を求められるが、「道半ば」の認識で回答している。

問４　「教育の日」についての各退職校長会の考え（顕著な回答を掲載）

- この20年の経過を振り返ると、「教育の日」が36県で制定され、約191市区町村に広がっており、全連退が主導した活動は、その使命を果たしていると思われる。
- 20年間の成果を踏まえ、全連退は更なる関係省庁・大臣への要求（国の「教育の日」制定）を推し進めてほしい。
- 広く国民に呼びかけ、制定の機運を盛り上げることが必要である。
- 国民全体が教育の大切さを認識して、さまざまな取組みを推進していくためにも国としての「教育の日」の制定が是非必要であると考えている。
- 「教育の日」は『子どもたちの健やかな成長を願って、行政や学校だけでなく家庭や地域社会が連携し、それぞれの立場から県の教育について考え、行動する契機となる日として制定』『県民の教育に対する関心を高めるとともに、県民一人一人が、現在の教育の在り方について見つめ直し、考える機会を設け、行動することを目的に制定』『広く県民の教育に関する理解を深め、教育尊重の機運を醸成する趣旨で制定』・・一般県民への周知と関心の高まりが不十分である。ポスターを作製し学校・地教委・教育関係機関に送付して啓蒙を図っている。マスコミで「教育の日」の取組みを積極的に取り上げることを通して、全ての国民が教育について考える機会にできたらよい。
- 制定宣言に謳われているように、本県の未来を託す子供たちが、明るく生き生きと毎日を過ごし、将来に向かって夢や目標の実現に向けて、自己を高めながら成長していくことは、私たち（退職校長）の願いであり、その環境を整えていくことは、私たちの責務と考えています。さらに、全ての県民が『本県の子どもたちは、本県民の手で育んでいく』という思いをもって、語り合い行動する契機となる日として「教育の日」を制定し、記念行事を行ってきており、県民意識が確実に高まってきている。今後も更なる拡がりと充実を求めて、取組みを継続していくことが望ましい。
- 退職校長会が中心となり、民間諸団体によって制定された本県の「教育の日」には、６地区持ち回りで推進大会を開催し、今年度は16回目を迎えたが、日常活動は低調である。趣旨を生かし成果を上げていくためには、県教委に働きかけ条例化または施策化等による制定が望まれる。

まとめ

20年を新たな節目として更なる取組みを進めたい。



「教育の日」の制定状況 （平成30年12月現在）

― 36都道県、107市、１区、65町、18村 ―

○北海道地区　制定 ― 北海道

（北海道）石狩市　岩見沢市　小樽市　帯広市　苫小牧市　函館市　砂川市　稚内市　滝川市　赤平市　旭川市　美唄市　白老町　豊頃町　本別町　幕別町　月形町　今金町　陸別町　大樹町　池田町　浦幌町　上砂川町　音更町　中札内村

○東北地区　制定県 ― 青森県　岩手県　宮城県　秋田県　福島県　山形県

（青森県）野辺地町　（秋田県）大館市　男鹿市

（山形県）上山市　新庄市　天童市　村山市　山辺町　朝日町　（福島県）浅川町

○関東甲信越地区　制定県 ― 茨城県　栃木県　群馬県　埼玉県　東京都　神奈川県　長野県

（茨城県）ひたちなか市　土浦市　守谷市　稲敷市　牛久市　龍ケ崎市　筑西市　結城市　阿見町　河内町　利根町　茨城町　大洗町　城里町　東海村　美浦村

（群馬県）前橋市　渋川市　藤岡市　沼田市　明和町　神流町　上野村

（埼玉県）白岡市　（千葉県）佐倉市　銚子市　野田市　南房総市　鋸南町　長生村

（東京都）あきる野市　葛飾区　（山梨県）甲府市　中央市　（新潟県）上越市　見附市

○東海北陸地区　制定県 ― 石川県　岐阜県　静岡県

（静岡県）掛川市　（福井県）福井市　敦賀市　（三重県）名張市

○近畿地区　制定県 ― 滋賀県　兵庫県　奈良県　和歌山県

（滋賀県）栗東市　（奈良県）奈良市

（和歌山県）和歌山市　海南市　橋本市　有田市　田辺市　新宮市　岩出市　紀の川市　御坊市　紀美野町　かつらぎ町　九度山町　高野町　広川町　由良町　有田川町　美浜町　日高町　みなべ町　印南町　白浜町　上富田町　すさみ町　串本町　那智勝浦町　太地町　古座川町　湯浅町　日高川町　北山村

○中国地区　制定県 ― 島根県　岡山県　広島県　山口県　鳥取県

（鳥取県）鳥取市　南部町　（広島県）三原市　府中市　東広島市　世羅町

（山口県）美祢市　萩市　宇部市　和木町

○四国地区　制定県 ― 徳島県　香川県　愛媛県　高知県

（徳島県）美馬市　三好市　鳴門市　つるぎ町　（高知県）安芸市　三原村

○九州地区　制定県 ― 長崎県　熊本県　大分県　鹿児島県　宮崎県　沖縄県

（福岡県）筑後市　宗像市　八女市　糸島市　（佐賀県）嬉野市　唐津市　多久市　神崎市　小城市　佐賀市　伊万里市　武雄市　鳥栖市　玄海町　（熊本県）八代市　荒尾市　宇土市　宇城市　合志市　大津町　美里町　和水町　氷川町　（大分県）宇佐市　国東市　佐伯市　津久見市　日田市　豊後高田市　別府市　杵築市　玖珠町　九重町　姫島村

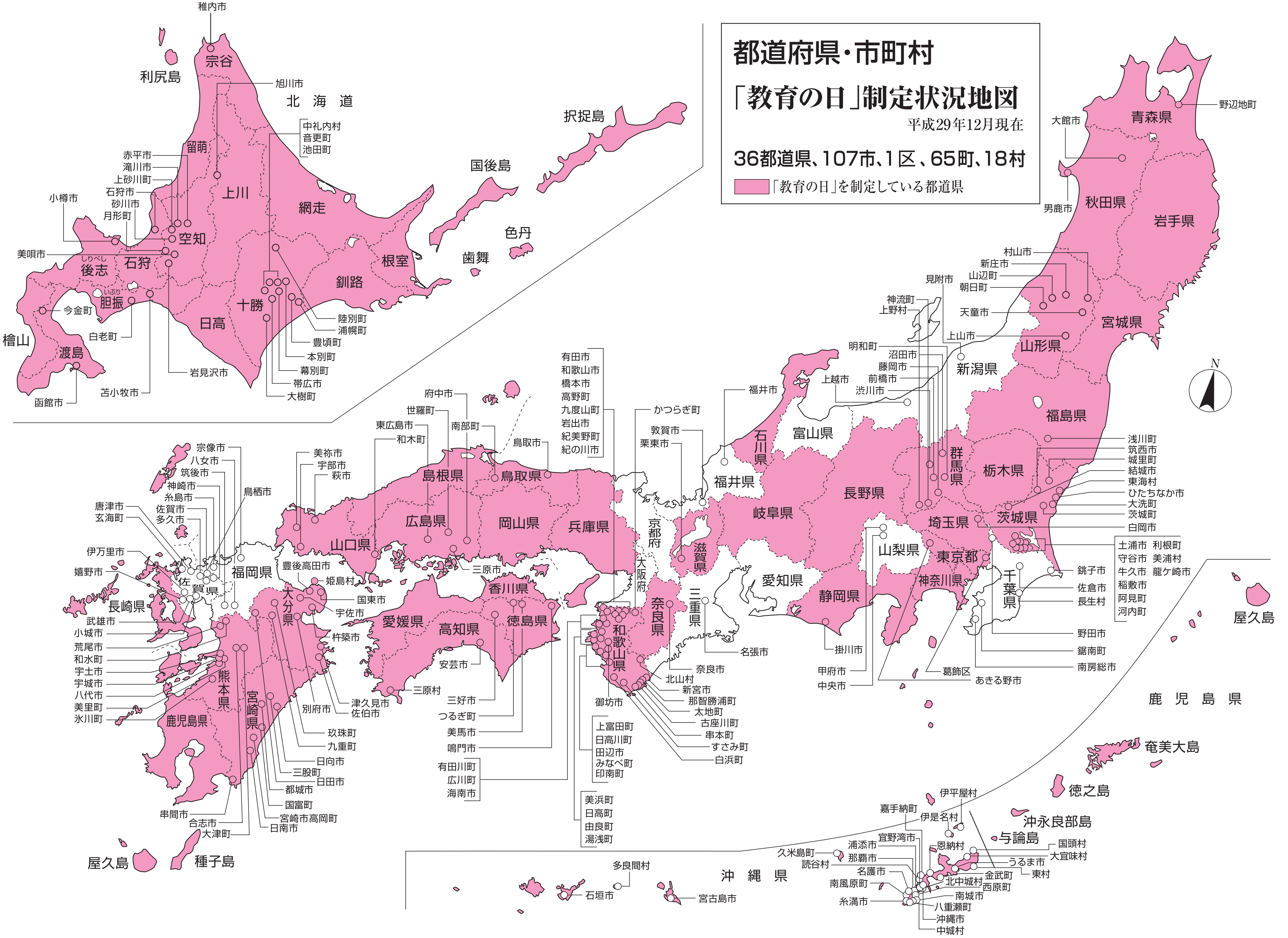
（宮崎県）串間市　日向市　日南市　都城市　宮崎市　高岡町　三股町　国富町

（沖縄県）浦添市　宮古島市　那覇市　石垣市　糸満市　南城市　名護市　うるま市　沖縄市　宜野湾市　南風原町　西原町　八重瀬町　金武町　久米島町　嘉手納町　伊是名村　恩納村　北中城村　読谷村　大宜味村　多良間村　国頭村　伊平屋村　中城村　東村

※上記中、神奈川県は「かながわ教育月間」、岐阜県は「教育週間」、静岡県は「家庭教育の日」、兵庫県は「兵庫の教育推進月間」、長崎県は「長崎っ子の心をみつめる教育週間」、鹿児島県は「地域が育む“かごしまの教育”県民週間」、宮崎県は「みやざきこども教育週間」と呼ぶ。

都道府県・市町村
「教育の日」制定状況地図

平成29年12月現在

36都道県、107市、1区、65町、18村

「教育の日」を制定している都道県